

こんなことが学校で起こったら、みんないやな気持ち

- ・私は、友達からよくたふかれます。とても嬉しい、こわいと思っています。
- ・ぼくは、変なあだ名をつけられてしまいました。何度もそのあだ名で呼ばれて困っています。
- ・お昼休みにみんなのしそりに通んでいるのに、いつも私だけさぞわかれません。とても悲しい気持ちです。
- ・ノートを買ったら書きかきをされました。内容は、いじわるな言葉で怒くなりました。
- ・ある日ぼくのくつがかくとされてしまいました。困っていると、友達が、「履きかきのたのしみも探してみな」と言っていて笑っています。

自分が、このようなことをされたら、

- 「やめて」と言い、先生や家の人に話してください。やめてくれない場合は必ず先生に教えてください。
- 自分では「やめて」と言いにくい場合もあります。無理をせず、すぐに先生や家の人に話してください。

友達が、このようなことをされたら、

- 友達と協力して「やめようよ」と言って友達を助けてあげてください。
- 自分たちで注意しにくい場合は、すぐに先生に教えてください。

自分がこのようなことをしていたら、

- 今すぐにやめてください。そして、友達に悪いに言い訳したことを先生や家の人に相談してください。
- けがをして体が痛つくと血が出ます。「大変だ」「痛そう」と、まわりはすぐに気がつきます。みんなの心（気持ち）も痛つくことがあります。
- いじめは友達のことを痛つけます。心からは血が出ないのでわかりづらいのですが、友達からたくさん血が出ている状態なのです。



いじめめことを必ず、話してください

- 苦しい気持ち、こわい気持ち、悲しい気持ち、くやしい気持ち・・・こんな気持ちになったら、「だれかにお話をしないと心や体がこわれてしまいます。」というサインです。
- お話をすると、温かい気持ち、安心した気持ち、ほっとした気持ち、たのしい気持ち、大好きという気持ち・・・びっくりするほど気持ちは変わります。
- 先生や家の人にお話をしてください。みなさんが困っているのに、そのことを話してもらえないと先生も家の人もとても残念で悲しく思います。そして、みなさんを心配します。
- 話がまとまらなくても「先生ちょっと」と言ってみましょう。「お話があります」と書いてそっと手紙を渡してもいいと思います。

どうしても先生や家の人にお話できないときは、下にあるようにほかにもお話できる場所があります。

いじめの相談窓口

- ・子ども館のサポートセンター 0120-415-446 メール [sapagosudan@chiba-c.ed.jp](mailto:sapagosudan@chiba-c.ed.jp)
- ・24時間子どもSOSダイヤル 0120-0-78310
- ・ヤング・テレホン（千葉県児童少年センター） 0120-783-497
- ・子どもの人権110番 0120-007-110
- ・千葉いのちの電話 043-227-3900

くちがいがあってあたりまえ

おもしろい人、まじめな人、元気な人、静かな人、ゆっくりとした人、せっかちな人、いろいろな人がいます。みんながいがあってあたりまえです。友達の中で自分とちがうところを見つけて、それを大切にしてください。そのことが友達への「やさしさ」になります。



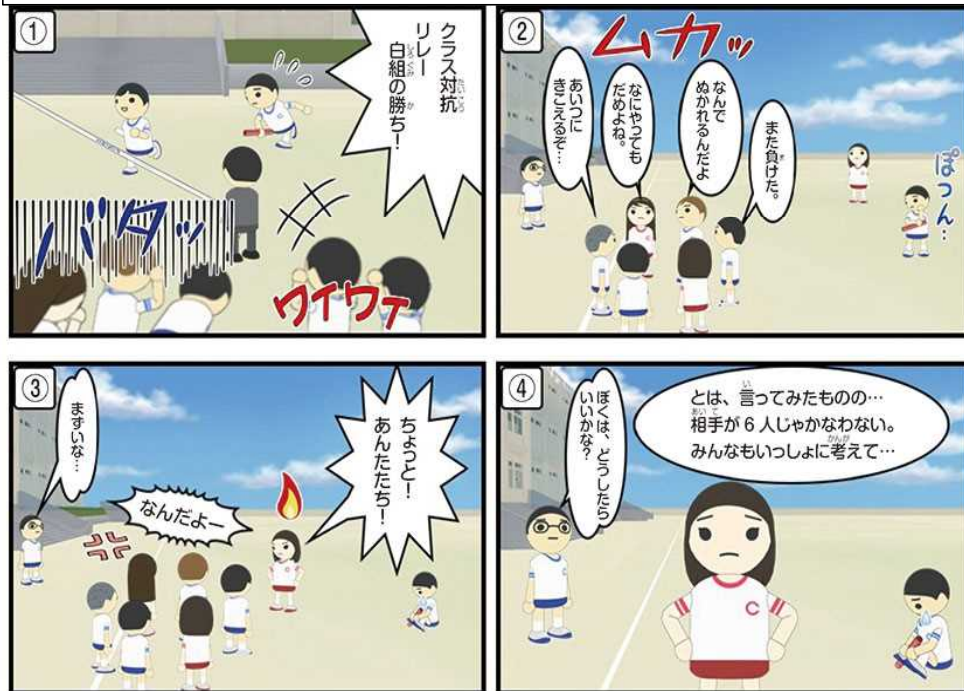
千葉県、市町村、学校では、いじめを防いだり、いじめを受けた子供たちを守るためにきまわりをつくり、みんなで協力して行動しています。前になることは、必ず確認してください。

# いじめをゆるさない

あんぜん あんしん がっこう つく  
安全・安心な学校を作る  
ために  
千葉県教育委員会

【指導のポイント】

- ・今、実際にいじめがおこっている等の理由で本教材をすぐに扱うことは、適当でないこともあるかもしれません。各学校の実態に応じて、適切に利用してください。
- ・説明をしながら、十分な時間をとって実際に、書かせてから話し合いをさせると考えが深まります。



○まず、まんがを見てください。何が起っているかわかるかな？説明してみてください。（できるだけくわしく書いてみましょう。）

【指導のポイント】

必要に応じて、今、取り組んでいる種目等（ドッチボール、なわとびなど）に置き換えて考えさせてください。中学年は、児童の実態に応じて、小学校版（中・高学年用）資料のどちらかを使用するか検討してください。

また、内容を理解できない場合は、「左側に立っているメガネをかけた男子はどんな状態か」「③の絵でずわっている男の子は…」と焦点をしばって質問をするなど工夫をしてください。

【解答例】

このクラスは、クラス対抗リレーであっけなく負けてしまった。走ることが苦手な子も選手として参加した。漫画の中で文句を言われている子は、おそらくリレーで相手にぬかれた。そのために、クラスの他の子たちが文句を言っている。そんな様子を見かねて、一人の女の子が注意しようとしている。また、話の輪に入っていない男の子がどうしたらよいか迷いながら状況を見ている。

(1)



○リレーでぬかれた子に文句を言ってはいけないの？

【指導のポイント】

自由に正直に答えさせてください。その上で、子供たちの意見で「励ましながらみんなで協力していく」ことが大切だと気づかせてください。話し合いの状況により、苦手な子を励ます方向にならない場合は、無理に誘導するのではなく、つぎの(2)の絵で、走ること(リレー)が苦手な子供の気持ちを考えさせてください。

【解答例】

- 一生懸命に走っていてぬかれたなら仕方ない。
- 練習が足りないからぬかれるのではないか。
- やはり負けたらこわい。ぬかれた子を責めなくなる。
- 自分が文句を言われたらいやなので、他の人にも言わない方がよい。
- ぬかれた人は、責任を感じているし傷ついているはず。なぐさめた方がよい。

(2)



○どんな気持ちかしら・・・？

【指導のポイント】

苦手なものを思い浮かべる時間とって考えさせてください。子供にとっては実際にたいへん嫌な思いをしていることも想定されますので、強く発言を求めるとはせず、「嫌なことを思い出させてしまったらごめんね。これは指名したりしないからね。無理に言わなくても大丈夫だから。」等の配慮をお願いします。

【解答例】

- つらい。
- 涙が出ている。悲しいと思う。
- みんなに申し訳ない気持ち。
- リレーなんて大嫌い。
- みんなで悪口を言うなんてひどい。
- だれか助けて欲しい。
- もう学校に・行きたくない。

(3)



○みんなだったらどうする？

【指導のポイント】

「注意ができない」と考える児童も多いと思います。正直な気持ちからスタートしてどのようにしたらよいかを考えるきっかけとしてください。

【解答例】

- 注意をする。
- 様子を見ている。
- 先生に伝える。
- みんなで練習しようと言う。
- 自分がやられたらいやなことはしてはいけないのではないかと提案する。

(4)



○なんで勇気が出なかったんだろう？

【指導のポイント】

「注意ができない」理由を明確にして、それをどう克服していくかという絵(5)につなげるように展開してください。そのために小さな理由でも、大切に上げててください。

【解答例】

- 注意すると、次は自分が文句を言われるかもしれないと思ったから。
- 文句を言っている人の数が多いので、一人では言いにくかったのではないか。
- もともと、気が弱かったのではないか。
- ケンカが弱いのでこわかったのではないか。

(5)



○ぼくは何かできることはなかったのかな？

【指導のポイント】

いじめの防止では、まわりで見ている子供がどう行動するかが大切です。ひとりひとり何かできることがあると思いますので、考えさせてください。その際、友だち同士が協力することの大切さも伝えてください。

【解答例】

- 注意をした女の子と一緒に行動すればよいのではないか。
- 今からでも、男の子をなぐさめてあげて、相談を受けたいのではないか。
- 先生を呼びに行けばよかったのではないか。

(6)



○ぼくはどうしたらいいのかな？

【指導のポイント】

はじめに自由に発言させ、ある程度、意見が出そろったら、いくつかを選択して他の人はどう考えるかを発問するなど工夫してください。例えば「がまんする」という意見がでてきたら、このことについてどう思う？と発問するなど考えを深めてください。

また、自分の思っていることを伝えることや、大人に相談することが、恥ずかしいことや、ずるいことではないということも指導してください。

【解答例】

- ひどいことを言うなと文句を言えばよい。
- 友だちに助けを求める。
- 先生や家の人に相談したらどうか。
- もっと練習して、少しでも早く走れるようになり、文句を言われないようにする。
- ぼくのせいで負けてごめんと言う。

(7)



○どんな言葉をかけたらいいか考えてみて。

【文句を言っている子に対して】

【指導のポイント】

子供たちそれぞれの伝え方があると思いますが、「だめなものだめ」ではなく理由や伝え方を考えさせてください。

【解答例】

- もうそんなことを言うのはやめよう。
- みんなでもっと練習しよう。

【文句を言われている子に対して】

【指導のポイント】

絵(2)の文句を言われている子はどんな気持ちか考えたことを思い出させながら、やさしい、親切な言葉を発表させてください。

発言に対して、「とてもいい言葉だね」等の声かけでたくさんほめてあげてください。

【解答例】

- 一緒に練習しようね。
- 気にしないで。次がんばろう。

いじめについて考えてみよう

○人にされたいやなことを教えてください。「いじめってどういうことだろう？」

【指導のポイント】

ある程度意見がでたら、例えば、「自分が一番嫌なことは何か、挙手等で確認する。」次に「自分は、気にならない(嫌でない)ことがあるか発問する。」などの方法で感じ方は、人それぞれであることを理解させてください。自分ではいじめではないと思ってもいじめになっていることがあることを理解させてください。

【解答例】

- 自分が気にしていることを言われる。
- 話を聴いてくれない。
- たたかれる。
- 命令される。
- 無視される。
- 物を隠される。
- 笑われる。